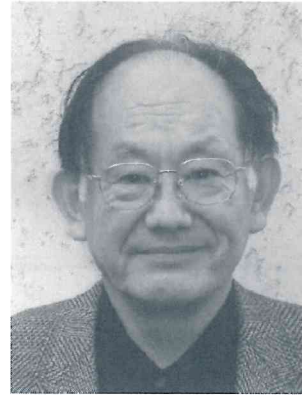


窓

すべての教会は開拓伝道から

花の木キリスト教会牧師

伊東 道夫



「この福音は、あなたがたが神の恵みを聞き、それを本当に理解して以来、あなたがたの間でも見られるとおりの勢いをもって、世界中で、実を結び広がり続けています。福音はそのようにしてあなたがたに届いたのです。」コロサイ一章六節

開拓伝道のことを考える時、すべての教会は、開拓伝道から始まっていることに気づかされます。その始まりは様々です。宣教師と日本人牧師が協力して始まった場合、また、全国総会で開拓伝道の方針が決まって、予算を計上して、サポートされて行われる場合、また、地区総会で開拓が決まって地区の教会がこの指とまれ方式でサポートされて始まる場合、また、個人的に開拓伝道に召されて、開拓協力委員会などに支えられて、働きながら開拓伝道が行

れる場合などです。J E C A の場合は、いろいろな方式が用いられて、協力し合いながら教会が誕生していることを思われます。

私の母教会である湘南キリスト教会の開拓は、日本人牧師と T E A M の宣教師との協力によって行われました。また、湘南ライフタウンキリスト教会の開拓は、そこで信仰に導かれた者たちと宣教師が協力して行われました。また、花の木キリスト教会の場合は、南関東地区の宣教協力委員会の指導により湘南地区の J E C A の諸教会を中心に、花の木開拓協力委員会が生まれ、諸教会に祈られ、サポートされて始まりました。

38 年前の湘南ライフタウンの初期の頃を思い出します。藤沢市の西部開発ということで、かつて畑と荒地と山林であった所が、見る見るうちに大きなベットタウンに変容して行きました。

この地に教会が一つもないことを知り、公園にゴザを敷いて、野外子ども会として始まったのが、湘南ライフタウンキリスト教会の始まりでした。神様は、この小さい群れを祝福してくださり、公園伝道から、ガレッジ教会へと導いてくださいました。そこで七名の方が救われて、それらの方々を中心に会堂が与えられました。ピリピン人の手紙二章一三節には、「神はみこころのままに、あなたがたのうち働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。」と記されています。

神様は、一人でも滅びることを望まれません。一人でも救われて、真理を知るように望んでいらつしやるからです。自らを省みる時、主は、神様のあわれみに頼らざるを得ない、欠けの多い、貧しい者を開拓の働きに

召してくださいましたことを思われます。

湘南ライフタウンキリスト教会が開拓 20 周年を迎えた時、今後の教会のビジョンを祈り求めました。ある新年の休暇の時に、神様から 2 つのことを示されました。それは、マルコの福音書一章三八節の「さあ、近

くにある別の町や村へ行こう。わたしはそこでも福音を伝えよう。そのため、わたしは出て来たのだから。」のみことばによってでした。

一つは、教会が教会を生み出す教会となっていくこと、もう一つは、開拓された教会が、牧師を招聘して自立する教会となっていくことです。

神様は、人間的には、不可能と思われることを、信仰をもって一歩踏み出すかどうかを待っていらつしやるようでした。そして、湘南ライフタウンキリスト教会には新しい牧師を迎え、藤沢市花の木の住宅街に開拓伝道が始まりました。このために、J E C A の宣教協力委員会によって花の木開拓協力委員会が生まれ、今日まで、祈られ、支援をしていただいています。すべての開拓伝道は、祈り、支援する方たちを用いられる主の御業なのです。



特集 教会開拓

福岡聖書教会	p.2-3
名寄クレーズ	p.4
みなみ野キリスト教会	p.5
十日市場めぐみキリスト教会	p.6
三陸のぞみキリスト教会	p.7
みらい平キリスト教会	p.8

「教会開拓の醍醐味と困難」

そんなことをわざわざ言わなくとも、教会開拓は主の御業であり、醍醐味があり、また困難があります。

J E C A 諸教会による開拓伝道はいくつもありませんが、当然のことながら、一様ではなく、それぞれ違いがあります。理想的と思うほどにうまく行くケースもあれば、上がって下がって思うように行かない場合もあります。細々と続けられるケースもあれば、大きなサポートを受けてどんどん進む場合もあります。

今回取り上げることができた開拓伝道のケースはどうでしょうか。

もし今回の記事を読んでくださり、立ち止まって祈ってくださるならば、私たちは開拓伝道を共にしているのです。近くの開拓、遠くの教会、初めて聞き取り組み、自分が見聞きしていたことと違う現実、そのいくばくかでも届くならば幸いです。

福岡聖書教会

福岡聖書教会牧師 井之上 薫 いのうえ かおる

福岡開拓を終えて思うこと

J E C A による福岡開拓伝道は、二〇一〇年四月に具体的な伝道活動が開始され、二〇一九年三月に J E C A から開拓伝道終了を宣言していただきました。福岡開拓伝道は、人目を引くユニークな開拓伝道理念や秘策、あるいは勝算があつて始まった開拓伝道ではありませんでした。少なくとも開拓従事者には、そのようなものではありませんでした。先を読めない不安を抱きながら、ただ主の召しに応答し、一歩先を照らしてくださいる主にすがる思いで導きを求めて始まった開拓伝道でした。終わってみるとアツという間の九年間で、開拓当初には誰も予想できなかった数々の神様の御業を鮮やかに見せていただいた教会開拓でした。

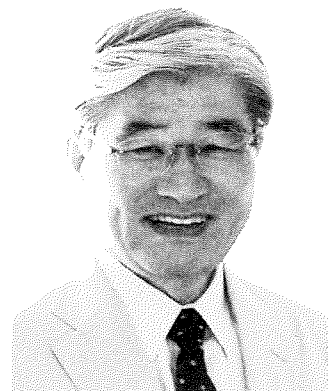
までのいわば隠れた準備期間にどのようなことが話し合われ、何が選択され、決定され、行われたのかということも忘れてはならない重要なことだと思えます。どんな準備が、どのような手続きで行われたのか、それはその後の開拓の働きを左右し、その働きに決して小さくない影響を与えるものです。

J E C A 外から福岡開拓の働きに導かれた者として、J E C A がどのように全国レベルの開拓伝道を発案するに至ったのか、どのような準備をし、開拓を推進するための協力体制の枠組みを作り、また環境整備を行ってきたのか、その経緯についてはまったく知りませんでした。

して全国レベルの協力開拓に取り組むようになったのか、その議論の始まり、発展、そして開拓地として福岡市が選定されるに至ったか、その経緯を知ることができました。

開拓従事者に任命され、開拓委員会の活動が開始してしばらく経った二〇〇九年七月、当時の委員長だった松元潤先生が準備してくださった「福岡開拓関係書類」というファイルを読みました。このファイルは二〇〇三年四月から二〇〇九年二月に開拓従事者が決定するまでの六年間の、福岡開拓に関係する全国宣教協力委員会、全国総会と全国運営委員会、その他の会合の記録、議事録、報告やメモ、配布資料等からなる86ページにおよぶファイルです。このファイルに目を通すことによって、J E C A がどのように

は二〇〇三年四月十六日の第六回全国総会の分科会の記録メモです。その中に次の文言が残されています。「九州、四国、また西日本での開拓が必要。地区別だけでなく、全国としての開拓を考えてはどうか。……他の教団では伝道展開があるが、J E C A は地域教会が中心で、遠隔地での開拓伝道をしにくい。しかし、J E C A の有り方との整合性を図りながら、その壁を打ち破る必要を感じる。……J E C A での戦略的な開拓をするかどうかを検討すべき。」



自立教会として一年二か月が経過した現在、福岡開拓を振り返ってさまざまな思いがありますが、感謝していることの一つは、実際の開拓伝道が開始されるまでの経緯についてです。開拓伝道というと、働きが始まってからどんな活動をどのように行ったか、そこで何が起こったかということだけが話題に上り、脚光をあびやすいのですが、開拓開始に至る

この記録は、二〇〇三年以前から、地区による開拓の手が及ばない地域への開

拓伝道に対する重荷が宣教協力委員会をはじめとして、諸先生方の思いの中にあつたことを示しています。同じ年の七月の全国運営委員会の記録には、これからの全国宣教協力委員会の働きの指針として「2. 全国レベルの宣教協力の神学的、実地的な吟味と整備。3. 日本宣教の視点の中で、地区の視野から漏れている地域への視点を持ち続けること。」という部分があります。そして二〇〇五年六月の全国総会の第五号議案として、全国宣教協力委員会の働きとして「JECA加盟諸教会、各地区、SLOT各団体との密接な協議のもとに、世界宣教および日本全国の教会未設置地域への伝道を視野に入れたJECAとしての宣教理念や宣教方針、長期的な宣教計画、宣教戦略を立案する」ことが提案されています。そして二〇〇六年五月の全国宣教協力委員会で具体的な開拓地として、広島、仙台、福岡の候補地が上げられ、翌月には二人の委員によって福岡でのリサーチが行われ、十月の委員会で福岡を新規開拓地として十一月の全国運営委員会に提案することが決定されました。その提案が承認され、二〇〇七年六月の第8回全国総会に4ページに及ぶ「福岡開拓委員会（仮称）設立に関する件」が第十号議案として提出されました。議案には「①従来の宣教協力方法では手を伸ばす事が困難なところ。②JECAの教会の存在が希薄なところ。③将来的には地域の核となる教会を建て上げる。④可能な限りSLOTとの協力関係を生かし

た教会形成」が含まれています。また総会資料の「配布資料A3」として6ページからなる「福岡開拓のためのロードマップ」が添付されました。これらの資料を通して一連の流れを辿りながら、その頃はまだ当事者ではなかった者として、全国レベルの宣教協力としての開拓伝道について、さまざまな意見が取り上げられ、丁寧な議論を経て、合意に至ったことを知ることができました。全国レベルの開拓は最初の試みだったこともあり、時間をかけてコンセンサスを得るための慎重な取り組みが必要だったことと思います。この真摯な取り組みが貴重なものだったことを肌で感じたのは、二〇〇九年五月から翌年三月まで全国の90以上のJECAの諸教会を訪ねさせていただいたときでした。福岡での開拓伝道のために祈り、支えていこうという諸教会の温かい雰囲気を感じました。この雰囲気は年月をかけて、丁寧で密な準備が積み上げられてきたからではないか、そう納得しました。開拓以前のいわば隠れた準備期間に、やがて始められる開拓伝道の祝福と完成がすでに獲得されていたのだと思います。

この間に労してくださった諸教会の兄弟たち、諸先生方の労苦の実として福岡開拓が始まり、今福岡聖書教会という実が結ばれています。JECAの諸教会に感謝します。何よりも、志を立てさせ、ことを始め、導き、教会を通して成し遂げてくださる主の御名を心より崇めます。



名寄グレース教会

なよろ
名寄グレース教会牧師
山廣 健
やまひろ たけし

全国のJ E C A の諸教会の皆様にも名寄開拓のことをお知らせできる機会を与えてくださった神様に感謝します。また、日頃より名寄開拓に対してのお祈りやご支援に対して紙面をお借りしてお礼申しあげます。

なぜ名寄か 名寄開拓はJ E C A 北海道地区の「道北宣教ビジョン」から始まりました。広大な北海道を見渡してみますと、旭川以北にはJ E C A の教会はなく、福音的な教会が少ないです。また、稚内においては長年にわたり教会開拓への切実な声がありました。そこで稚内宣教への橋渡しとなる名寄が候補地となりました。名寄は旭川以北の中心都市として機能している市で

す。法務局、地方裁判所、税務署、保健所、自衛隊駐屯地、名寄大学、市立病院、大型ショッピングモールなどの施設があります。

開拓の経緯 二〇一四年に「名寄グレース教会」として働きが始められました。

二〇一四年から二〇一八年までO M F のウオーカー宣教師夫婦と開拓委員会が責任を持ち宣教、牧会を行ってきました。専任の開拓従事者が不在の中、北海道地区の職者の先生方やO M F の宣教師の方々の協力を得ながら働きが続けられました。名寄開拓と共に転入会者が与えられたことも感謝でした。また、結婚の学びから洗礼の学びへとつながり、2名の受洗者も与えられました。私が就任(二〇一八年)してから3名の転入会者が与えられ、現在は9名の教会員と共に礼拝を捧げています。礼拝に集っておられる方々は名寄市、西興部村、士別市から来られています。二〇一九年よりミッシェル宣教師が札幌国際キリスト教

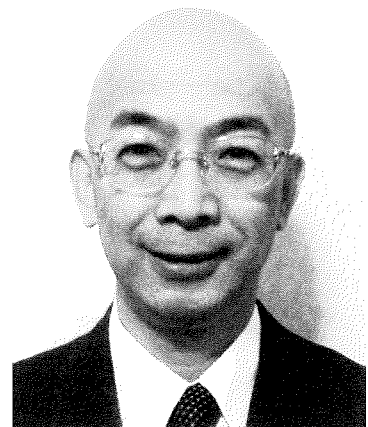
会より派遣され、二〇二〇年からO M F の宣教師が2名来られる予定です。また、幹事教会の永山福音キリスト教会の皆さんや山本師と連携を持ち、祈りと支えの中で開拓が進んでいます。

宣教の展開 名寄グレース教会では教会員の賜物を用いて「ふまねつ」という健康体操教室やお茶会、日曜学校の諸行事、三浦綾子読書会、ゴスペルなどを行っています。近隣の方々も教会の行事に参加してくださるようになりました。地方ながらの難しさもありますが、人間関係を大切に築きながら伝道をしています。名寄が候補地として選ばれた理由の一つは大学があることでした。大学生との接点を探り、祈り求めていたところ、大学の手話サークルと関係を持つことができたことも感謝です。妻の神奈子姉の手話を用いて地域の手話の会との関係も持つことができています。宣教師による英会話、韓国語教室も用いられています。二〇二〇年度から来られる宣教師に

よる新しい働きにもわくわくしています。今年度の動き 祈りの課題としては名寄市や近隣市町村の人々、名寄大学の学生への伝道と救いです。

二〇二〇年度の総会で教会規約を制定しました。教会員が一致して進みますようにもお祈りください。

さらなる展開 道北地域は教会のない町村が多くあります。広い北海道北部に向けて名寄を拠点とした宣教が進んでいく足がかりとなる大切な働きです。名寄と稚内は約170キロの距離があります。日本海沿岸、オホーツク沿岸にも町や村が点在しています。「さあ、近くにある別の町や村へ行こう。わたしはそこでも福音を伝えよう。そのため、わたしは出て来たのだから。」(マルコの福音書一章三八節) 北海道の広い大地にイエス様の福音が伝わっていく働きが祝福されますようにお祈りください。



みなみ野キリスト教会

みなみ野キリスト教会牧師

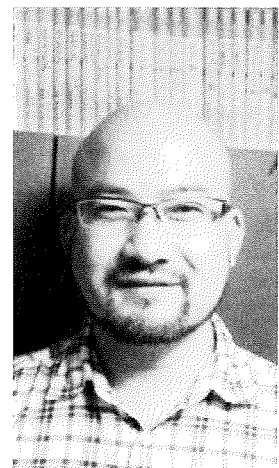
田辺 たなべ
証夫 あきお

みこころを行わせてくださる主に信頼して
「神はみこころのままに、あなたがたのう
ちに働いて志を立てさせ、事を行わせてく
ださる方です。」ピリピ二章一三節

「この街に教会があつたら。」新しくでき
た駅に、ある一人の牧師が降り立って与え
られた思いから、みなみ野キリスト教会は
始まったと伺っています。その思いは南関
東地区を中心に中関東地区、北関東地区
の諸教会で共有されました。また主は「こ
の街に教会を」との志を共にする兄弟姉妹
を既にこの地に備えていてくださっていま
した。そこからさらに祈りの輪が広がって
行き、支援会が設置され、生田丘の上キ
リスト教会が宗教法人事務を担ってくだ
さり、諸教会から多くの献げものがあり、
二〇〇六年九月十七日に最初の礼拝を八王
子みなみ野の地において献げることができ

ました。初代宣教従事者はリーベンゼラ宣
教団のトマス・ベック宣教師でした。J E
C A 諸教会の人的・経済的なご支援・ご協
力をいただきながら、ベック宣教師の口を
通してみことばが大胆に語り続けられ、み
なみ野キリスト教会は、約4年半の宣教活
動の中で礼拝出席者が40名を超えるほどに
大きくなりました。二〇〇八年十一月には
新会堂も与えられました。

り、隔年でバザーを行ったりしています。そ
こから目に見える実を見ることは残念な
がらここ数年ありません。教会員の兄弟の
日頃からの誠実なご奉仕がありますが、人
数の減少により集会のあり方、奉仕の分担
などにも工夫が求められています。



二〇一〇年六月にベック宣教師から現牧
師の田辺牧師に引き継がれてから10年の歳
月が流れました。この間、4名の方が受洗
の恵みに与りましたが、召天された方も含
め、多くの方が他教会に移られ、礼拝出席
者は減少しました。途中、他教会から転会
を希望される方もありましたが、転会まで
至らず、そのようなことも相まって、教会
も少し元気を失いかけたこともありまし
た。毎年秋頃にコンサートを行ったり、毎
週木・土曜日に「居場所カフェ」を開いた

このような状況の中で今私たちに求めら
れていることは「何をするか」ではなく
「主にあつてどうあるべきか」を問いつつ、
私たちがこの地に召されていることの目的
を確認して、今一度この地域に目を向ける
ことだと思われています。つまり「キリ
ストの弟子であること」の意義と恵みを深
く見つめ直すことです。当たり前のことで
しょう。確かにそうかも知れませんが、そ
の当たり前のことを努力してするのはな
く、当たり前のことをいつも当たり前のよ
うにできる(ある)教会になれるようにと
願っています。キリストの弟子とされたこ
との喜び、福音を証しできる幸いを更に深
く知る教会です。そんな中、主は2人の姉
妹と子供たち、教会近隣に住む兄弟を遣わ

してくださいました。また八月十六日には、
昨年七月以来忠実に礼拝に通い続けられた
姉妹の洗礼式が執り行われました。現在は
平均18名の大人、4名の子供たちで礼拝を
お献げしています。大小にかかわらず、こ
こみなみ野の地に「主イエス・キリストの
教会」が建て上げられ続けることを祈り願
いつつ、御霊の豊かな働きの中で主を讃え、
福音宣教に励みたいと願っております。
祈祷課題

〇私たちがキリストの弟子として成長し、
「この町には、わたしの民がたくさんいる」
と言われる主のことばに信頼し、遣わされ
た場所で出会う人々をキリストの弟子とす
ることができますように。

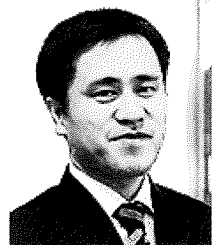
〇礼拝をはじめとした諸集会がキリストの
栄光を現すものでありますように。
〇主が礼拝者を加えてくださり、宣教のた
めの必要も満たしてくださいることを、教会
員が心から信頼して祈ることができますよ
うに。



〇主が礼拝者を加えてくださり、宣教のた
めの必要も満たしてくださいることを、教会
員が心から信頼して祈ることができますよ
うに。

十日市場めぐみキリスト教会

上作延キリスト教会牧師 野村 卓一のむら たくいち
十日市場開拓伝道支援委員会長



(1) 開拓伝道開始とその後の経緯

○中山キリスト教会の「開拓伝道の幻」

二〇一〇年八月に南関東地区宣教協力委員会に宛てて一通の手紙が届きました。差出人は、中山キリスト教会役員会。タイトルは「新しい開拓伝道の幻」。長い間、祈り温めてきた十日市場への開拓伝道に協力をという趣旨でした。その後、柳田信牧師から直接お聞きしましたが、その段階では状況が整わず、しばらく保留しました。そのような中でも中山キリスト教会は教会総会で開拓伝道開始を決議しました。二〇一一年十一月二十七日に第一回(仮称)横浜北部開拓について「ともに考える会」が行われ、地区内外から参加した方々によって今後の方針が話し合われました。同じ頃、地区運営委員会から、この開拓伝道を宣教協力委員会が積極的に受け止め動いてほしいとの提言を受けました。

○「ともに考える会」↓「準備会」

↓「支援会」準備の段階的發展

地区宣教協力委員会はこれを主の導きと受け止め、翌年二〇一二年一月二十八日に

第二回目の「ともに考える会」を開催し、

関東三地区諸教会に協力を呼びかけました。その会場で「この指とまれ方式」第三弾として開拓伝道を開始する方針が定まりました。宣教協力委員会はリーベンゼラ日本宣教師団にトマス・ベック宣教師の派遣を要請し、宣教師団は同師を宣教従事者として派遣決定。中山キリスト教会役員会は二家族(会員6名)を派遣することを決定。そのようにして「十日市場開拓伝道準備会」が立ち上がりました。二〇一二年三月から一年かけ準備委員会を行い、リサーチの結果、宣教範囲を十日市場町・三保町・新治町(人口3万人)とすることを決め、中山キリスト教会・リーベンゼラ日本宣教師団・地区宣教協力委員会の三者が中心になり、30の教会・団体が集まり、二〇一三年五月二十五日に十日市場開拓伝道支援会を設立しました。構想から立ち上げまでに3年の準備期間を要したのです。

○礼拝所の確保、資金計画

準備会設立後すぐに集会所を探しましたが、古い土地柄ゆえに難航。9ヶ月、信じて祈りを重ね、十日市場駅から歩いて10分の場所に賃貸物件(10坪)を12年暮れようやく契約しました。支援会設立とともに十日市場めぐみキリスト教会発足。礼拝開始時10数名でしたが、出席者が増え25名を超えると手狭になり、土地会堂購入が支援委

員会の喫緊課題となりました。専門家の助けを得て物件を探すも、数が少ない上、教会使用の条件を満たす物件はなかなか出ませんでした。奇跡的に現在の土地会堂(中古)を二〇一五年十二月に購入、内外修繕

工事が施行され、二〇一六年五月献堂式を行いました。賃貸での集会所は3年半でした。駅から少し離れた場所でしたが、通り沿い人目につく場所に十分な広さの会堂が与えられ、主の導きと祝福を覚えて感謝しました。ここに至るまでも多くの方の献身と祈りがありました。

土地会堂取得費は当初計画では六〇〇〇万円、その25%にあたる一五〇〇万円献金が集まれば購入に向けて動くことを支援会総会で決定。しかしその額では中古物件購入でも不足することが判り、取得予算を七〇〇〇万円に増額と次の総会で決議。資金計画を示して支援会債を募り、リーベンゼラ日本宣教師団から一〇〇〇万円、支援会債三二二〇万円、合計四二二〇万円をお借りしました。残りの二八八〇万円(七〇〇〇万円の41%)は驚くことに献金が与えられました。

(2) 現状と祈禱課題

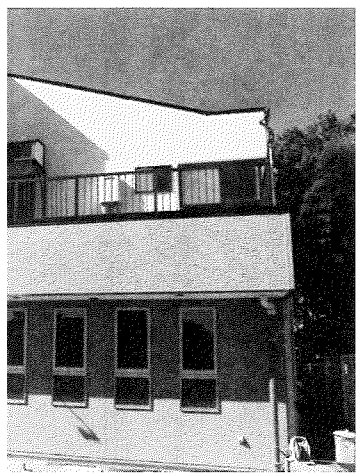
○十日市場開拓伝道の現状
二〇一三年五月の支援会設立から、7年経過しました。現在34教会・団体が支援会に参加してくださり、感謝なことに

返済は順調に進んでいます。

二〇二〇年一月末時、借入金四二二〇万円の半分二〇六〇万円を返済できました。十日市場めぐみキリスト教会では、ベック宣教師と佐藤優子伝道師が伝道牧会にいたり、神学生も毎年奉仕し、現在の礼拝出席は子どもを含め40名前後と祝福されています。今年のJ.E.C.A.全国総会での加盟を願っています。ただし会員数27名、役員会設置後まだ2年です。ベック宣教師はこの二〇二〇年夏一年間ドイツに帰国します。ご家族の状況を考慮し、二〇二一年以降の奉仕継続可否を判断なさいます。もし継続困難となれば、すぐに牧師招聘を考える必要があります。なお不安定な面が多く、諸教会による息の長いご支援を必要とします。

○祈禱課題

① 宣教従事者ベック宣教師ご一家と佐藤優子伝道師の祝福。幹事教会・中山キリスト教会の祝福。
② 奉仕継続可否判断に主の導きがあり、適切なサポートができるように。
③ 支援会と諸教会に宣教協力の喜びが増し加えられ、それぞれの地で宣教が前進するように。

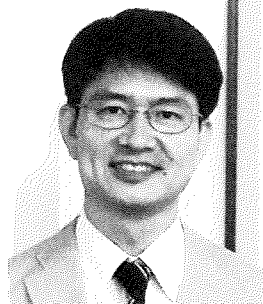




三陸のぞみキリスト教会

門戸聖書教会牧師

徳永 大^{たくなが だい}
岩手開拓伝道委員会副委員長



時が良くても悪くても 岩手開拓を覚えてお祈りください、心より感謝いたします。

例えば岩手開拓について何か書く時には、いつも「ピンチです。祈ってください！」と、悲壮感でいっぱい文章をしたためてきたように思います。そもそも東日本大震災の被災地支援から生まれてきた教会ですから、困難なのは当たり前。それでも、二〇一九年三月に「いっばいばいば岩手」が解散し、さらには開拓従事者の高田照一先生もお辞めになることが決まった時には、これからどうなってしまうのだろうと、途方に暮れたことを覚えています。

幸い、センドの李ヤムエル先生・ドリス宣教師ご夫妻と劉ウインサム先生が留まってくれました。礼拝場所も、山田町のコミュニティセンターを借りることができました。そして、全国から多くの先生方が、週替わりでメッセージに駆けつけてくださいました。こうして主のあわれみと皆さんの祈りとサポートによって、何とかここまで岩手開拓を継続することができました。

しかし何と言っても、宣教師の献身的なご奉仕によるところが大きいのは事実です。聖日の礼拝準備ひとつとっても、会場への礼拝用品の持ち込み、ご高齢の求道者の送迎と、八面六臂（はちめんろつび）の大活躍です。一月からのウインサム先生の報告帰国中はどうしたものかと、岩手開拓委員会では頭を悩ませておりました。そうしたところ、不思議な導きで同じ香港からの宣教師であるラリー・チョイ師・ステラ・ウオン師ご夫妻が、岩手開拓へサポートに入ってくださいることになりました。胸をなでおろしつつ、主に感謝いたしました。

ところが、そこへ今回の新型コロナです。岩手県は全国でも唯一感染者が出ていない県でしたが、緊急事態宣言の対象となり、コミュニティセンターも使えなくなりまして（※）。県外からのメッセージのご奉仕も原則お断りすることとなりました。しかし、この間も、ビデオメッセージを使った礼拝、以前にもましての求道者の訪問など、良きフォローアップがなされてきました。

（* この原稿執筆後、五月二四日から再び利用できるようになったと連絡がありました。）

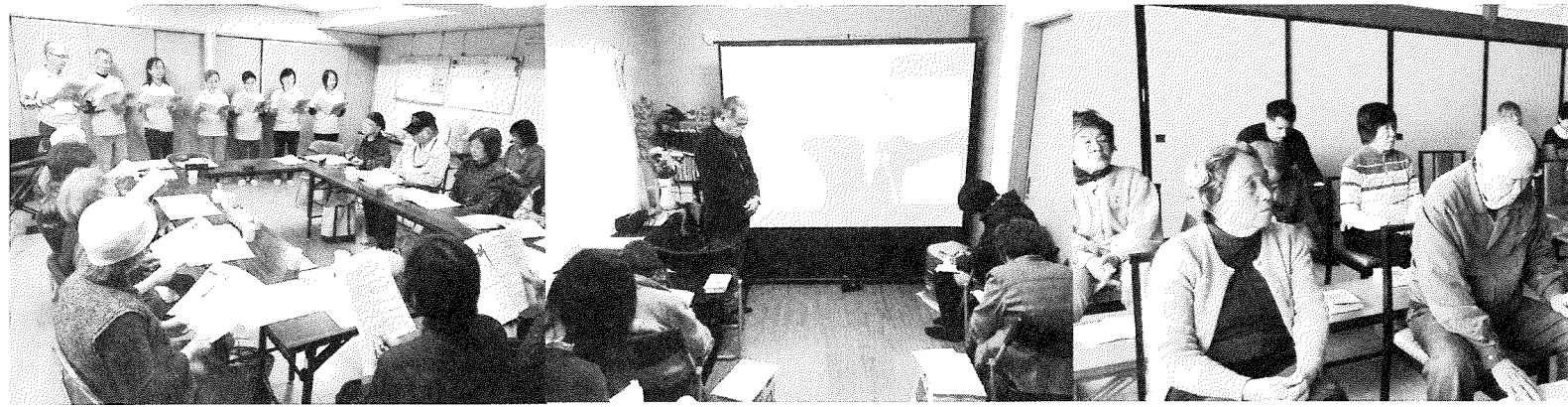
そして、先日、嬉しい知らせがありました。ひとりの方が信仰を告白され、また別の二人の方から、バプテスマを受けたいというお申し出があったのです。ひとつのみのことを思わされました。

Ⅱテモテ四章二節「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。」

岩手開拓は、必ずしも順調な経緯をたどってきたわけではありません。むしろ、

「神の国はこのようなものです。人が地に種を蒔くと、夜昼、寝たり起きたりしているうちに種は芽を出して育ちますが、





どのようにしてそうなるのか、その人は知りません。」(マルコ四章二六、二七節)

岩手開拓に関わらせていただくようになって、ひとつ実感していることがあります。それは、ああ、岩手開拓は主のお働きなのだということ。私たちの祈りがあり、願いがあり、躓きもあり、困難もある。しかし、それら全てを超えて、神の国がここでも芽を出し育とうとしていく。まさに、「大切なのは：成長させてくださる神」(1コリント三章七節)です！
主の御名をあがめます。

ぜひ引き続き、岩手開拓のためにお祈りください。特に、開拓従事者が与えられるように。また、現地で労してください。地元の開拓者の方々のために。特別に祈ってください。方には、ニュースレターの他に、週ごとの報告もメールでお知らせすることもできます。ひとりでも多くの方が、三陸で芽吹きつつある、この主のみわざの当事者になってくださることを、心より願っております。



みらい平キリスト教会

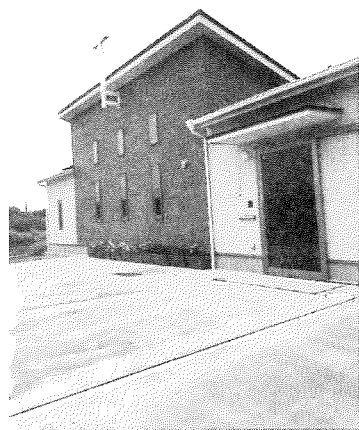
みらい平キリスト教会牧師

さいとう きよし
斎藤 潔

開拓の経緯と現状

1. 経緯 みらい平開拓は、茨城県南のつくば市と都心の秋葉原を結ぶ常磐新線として二〇〇五年に開通した「つくばエクスプレス線(通称TX)」沿線の発展を見越して企画されました。そして中関東地区(現東西関東二地区)の開拓伝道として二〇〇九年一月にみらい平開拓伝道委員会が始動しました。同年五月十日、主の導きでギリギリ借りられた集会所に、近隣教会から百名ほどの教職信徒が集まって開所式が行われました。中関東地区とリーベンゼラ宣教団の協力関係の中で、G・シュトラウス宣教師が開拓伝道従事者、谷田部キリスト教会が幹事教会となり、諸教会の祈りと支援のうちにみらい平開拓伝道は開始されました。

東日本大震災後、無牧状態が約一年続きましたが、二〇一二年四月に二代目開拓伝道



従事者として筆者が着任しました。前年十一月に前任の教会で定年月を迎えた筆者が、主の導きを求めて祈り始めた直後にみらい平開拓へのお招きを受けました。祈るうちにピリピ二章一三、一四節に立つ信仰が与えられ、主の導きを確認して応答しました。四月二十九日の就任式(司式入月師)には近隣教会から80人余の教職信徒が集まり、みらい平開拓への主にある熱心が示されました。
二〇一六年五月の新会堂の献堂は、みらい平開拓にとって大きな



お詫びと訂正

祈りのハンドブック

●小川キリスト教会(五十二ページ)
主日礼拝時間。

(誤) 一〇時

(正) 一〇時三〇分

●中山キリスト教会(八十六ページ)
住所表記変更。(新) 〒二二六-〇〇一九

横浜市緑区中山六一四十一

JECAフォーラム二〇八号

三ページ、執筆者名。

(誤) 中条世宣

(正) 中城世宣

お詫びして訂正いたします。

神学生支援基金利用教会

OMF・ザ・チャペル・オブ・アドレージョン	木津健博
ぶどうの樹キリスト教会	大條 映子
かもい聖書教会	桑島 みくに 高石 啓明
足立キリスト教会	国分 力
永福南キリスト教会	岡谷 和作
湘南ライフタウンキリスト教会	菅野 雪
中野島キリスト教会	小此木 優
たまプラーザキリスト教会	田中 身和子
夙川聖書教会	秦 裕樹

神学生支援基金への申請のあった教会と神学生です。学びと今後の働きのためにお祈りください。



News & Prayer ニュースと祈り

新型コロナウイルス感染症対策窓口

現在第8信まで配信されています。吉田浩二師はじめ、情報が寄せられています。様々な情報が飛び交っている中で、良い指針になるかと思えます。JECAホームページにてご覧いただけます。

<http://www.jeca.jp/>

「日本福音キリスト教会連合」で検索。



全国総会

郵送で採決と全国運営委員の選挙が行われます。詳しくは郵送された書類をご確認ください

さい。緊急時対応としての承認事項を採決する第一段階、郵送での採決の可否を確認し、WEB説明会を経て行われる第二段階に分けて行われます。

DAWNプレ大会

十月十八日(日) 十六時スタート。オンラインにて開催。教会ごとの事前の登録が必要です。メールの宛先は、

jecayouth55@gmail.com

です。教会名、教職者氏名、予想青年参加人数をお知らせください。

宣教支援基金

コロナ禍対策に「緊急支援」使えます!

会計状況に困難を覚えている教会は委員長までご相談ください。

小倉泉師(自治医大前キリスト教会)

〇二八五-四四一七五六

jichidamae@nifty.com

新人教職者研修会

一〇月五日(月)〜六日(火)。対象は

JECA教職委員会推薦者名簿に記載されてから6年未満の方。ZOOMを使用します。

問い合わせ: 榎田信師(中山キリスト教会)

〇四五-九三二-二二二〇

nakayama-christ@maroon.plala.or.jp

計報

・丸井勇師(水戸下市キリスト教会名誉牧師) 八月十七日召天。

・霜田實師(笠間キリスト福音教会牧師) 九月十一日召天。

北海道から九州まで、各地での教会開拓の取り組みについて、現在に至るまでのそれぞれの導き、様々な働き、困難や課題について今回あらためて知ることが出来ました。皆さんはどこまでご存知だったでしょうか▼コロナ禍の一つの感謝として思うのは、地方にいなから学びと交わりに参加出来るということ。東京に行かなくても。九州からオンラインで参加できる。技術的には以前から可能だったと思いますが、画期的なこと。このフォーラムも紙面ではありませんが、そのような機会となることを願っています▼教会開拓の成否とは何でしょうか。出て行って福音を宣べ伝えよと言われた主のおこたを覚えて、離れたところからでも祈り支えたいと思います。最前線です。おられる開拓従事者、教会員のおひとりおひとりを主が励まし、豊かに祝福してくださいませうに。(あ)

編集後記

北海道から九州まで、各地での教会開拓の取り組みについて、現在に至るまでのそれぞれの導き、様々な働き、困難や課題について今回あらためて知ることが出来ました。皆さんはどこまでご存知だったでしょうか▼コロナ禍の一つの感謝として思うのは、地方にいなから学びと交わりに参加出来るということ。東京に行かなくても。九州からオンラインで参加できる。技術的には以前から可能だったと思いますが、画期的なこと。このフォーラムも紙面ではありませんが、そのような機会となることを願っています▼教会開拓の成否とは何でしょうか。出て行って福音を宣べ伝えよと言われた主のおこたを覚えて、離れたところからでも祈り支えたいと思います。最前線です。おられる開拓従事者、教会員のおひとりおひとりを主が励まし、豊かに祝福してくださいませうに。(あ)

J E C A フォーラム 1 0 9 号 について の お 知 ら せ



同封の J E C A フォーラム 1 0 9 号 について 以下 の 記事 について、下 記 の ご 案内 を 申 し 上 げ ま す。編 集 時 期 と 発 行 時 期 の ズ レ か ら 来 る 変 化 が あ り ま す の で、下 記 を ご 勘 案 の 上 お 読 み い た だ き た く お 願 い い た し ま す。

J E C A フォーラム を 教 会 員 の 皆 様 に 配 布 す る 時 に、こ の 事 を あ わ せ て お 伝 え い た だ き た く、ご 協 力 よ ろ し く お 願 い し ま す。

P 9 「DAWN 全国青年大会」 について の 記事 について

2021年5月2日(日)～5日(水・祝) 会場;国立女性教育会館」と記載されています。この記事は8月頃に準備したのですが、2020年10月上旬、諸準備のため国立女性教育会館と打ち合わせを行ったところ、コロナ対策規制のため会場使用の制限がいつまで続くか見通しが立たない事が判りました。

諸準備との兼ね合いから、このまま、上記日程での開催を実施する事は不可能という事になり、DAWN実行委員会では、この日程を変更する事を決断して、全国運営委員会の理解もいただきました。10月20日現在、諸関係者と対応調整中です。

対応が決まりましたら、改めて実行委員会等からご案内させていただくこととなりますので、ご了承お願いいたします。

P 1 0 左 上 の 「 神 学 生 支 援 基 金 利 用 教 会 」 の 表 について

本表は、編集時点での表で、9教会(10名)のお名前を掲載していますが、その後の追加申請がありました。最新では11教会(13名)への支援を実施しています。以下、3名を加えていただき、学びと訓練のためお祈りいただければ感謝です。

西堀キリスト福音教会 (天賀谷 崇兄、 五十嵐 哲兄)
栄福音キリスト教会 (三戸恵悟兄)

2020年10月24日

日本福音キリスト教会連合 広報委員会

